



NEWS LETTER

No.29
2021

就任のご挨拶

男女共同参画推進室長 理事・副学長 花輪 公雄

日頃、山形大学男女共同参画推進室の事業についてご理解とご協力をいただき、誠に有難うございます。私は今年度より男女共同参画推進室長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

2020（令和2）年度から実施されている「山形大学男女共同参画基本計画（第2次）」では、我が国の男女共同参画に係る動向と国立大学協会における目標等に鑑み、男女共同参画に加えダイバーシティに関連する活動をいっそう推進することを目的に、方針および具体的施策を定めています。この中では、女性教員比率や女性管理職比率に高い目標を設定し、無意識のバイアスや性的指向・性自認等への配慮なども明記しました。昨年度末には、「多様な性に関するガイドライン」を作成し、本学の多様な性を尊重する姿勢を打ち出しています。

今年度初めの男女共同参画推進委員会では、第2次基本計画に基づき、種々の事業計画について検討しました。教育・研究および就労と家庭生活との両立のための各種支援についても拡充し、女性研究者の裾野拡大などや、各キャンパスでも年度計画に基づいて様々な具体的取組を開始しています。

また、第2次基本計画の進捗に関する評価の年として、達成状況に関するアンケートを実施します。さらに今年度は、第3期中期目標・中期計画の最終年度でもあり、目標達成に向けて取組を推進するとともに、アンケートに対する分析と評価を次期計画に反映させていきます。また、大学コンソーシアムやまがたの「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」や「全国ダイバーシティネットワーク組織」東北ブロック会議など、これまでに構築したネットワークをいっそう充実させていきます。

山形大学における男女共同参画の推進に、皆様方のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



花輪 公雄 理事・副学長

男女共同参画推進室 チーフ・コーディネーター 柿崎 悦子



日頃、男女共同参画推進室の様々な事業について、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。4月から山形大学男女共同参画推進室のチーフ・コーディネーターとして務めております柿崎悦子と申します。山形大学の男女共同参画について、皆様より様々な状況をうかがいながら推進してまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度は第2次山形大学男女共同参画基本計画の実施2年目にあたり、計画の推進状況の把握や課題の発見のために、アンケートを実施しました。このアンケートは本学男女共同参画推進準備室を設置した2008年から継続的に実施しており、今回で第7回目となります。今まで実施したアンケートの結果は、その時々を取り組むべきことや第2次基本計画の策定に大きな役割を果たしてきました。今回の結果は、今後、男女共同参画推進委員会において分析をし、報告書等で皆様にお知らせすると共に、2022年度からの男女共同参画及びダイバーシティの推進に向けての様々な取組に反映させてまいります。

引き続き、男女共同参画の事業についてご協力をお願い申し上げます。



第1回男女共同参画推進委員会報告

5月21日に第1回の男女共同参画推進委員会が開催されました。

今年度は、男女共同参画推進室スタッフの体制が変わり、推進室ミーティングを月1回をめぐりに開催しながら、男女共同参画及びダイバーシティ推進についての事業の原案の立案や事業の実施を行っています。それらは、全て男女共同参画推進委員会で検討、了承されています。また、男女共同参画アンケートの実施年でもあり、例年の会議に加えて秋に推進委員会が開催されます。

会では、初めに第2次山形大学男女共同参画基本計画に基づく、令和3年度の年度計画や事業計画が協議されました。また、男女共同参画アンケート、男女共同参画セミナー、女性大学院生ネットワークや多様な性のガイドラインなどについても報告・検討されました。各キャンパスの年度計画の評価や課題の報告があり、様々な取組の成果も報告されました。



令和3年度山形大学男女共同参画セミナー(南東北会議研修会) ～ダイバーシティの次のステージに向けて～を開催しました。

6月28日に「ダイバーシティの次のステージに向けて」をテーマに、大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」、全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロック南東北会議と共催し、セミナーを開催しました。

セミナーでは、令和2年4月に施行された第2次山形大学男女共同参画基本計画に基づく取組を報告するとともに、東北地区のネットワーク拡大を図りました。当日はオンラインにもかかわらず、東北地区の関係機関から約50名の方にご参加いただき、講演後には活発な質問がなされるなど有意義なセミナーとなりました。

講演：東北大学副学長 大隅典子氏

「東北地区のダイバーシティを推進するために～ネットワークによる女性研究者の活躍促進～」と題し、オンラインでご講演をいただきました。

冒頭に金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」の詩に触れられ、人生を歩む原点となられたとの話から始まりました。

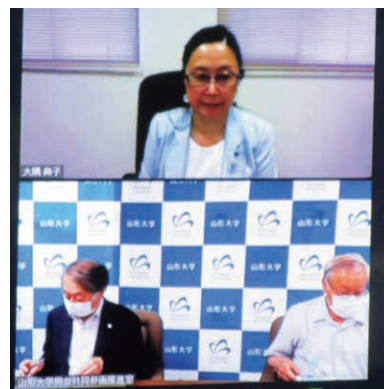
女性の活躍推進について、女性の能力が活かされていない現状や、初等中等教育現場でのバイアス感の存在、社会に出てからも、企業入社後の数年間の中で女性がリーダーに登用されない現状についてお聞きしました。

これらの現状分析から、ロールモデルの必要性、裾野拡大の重要性ということや、サステナブルな男女共同参画を推進していきたいということ、また、研究力向上のために女性に参加してもらうことやリーダーの育成についての話もありました。

ご講演の終わりに、アメリカ合衆国大統領を支えるメンバーを示され、意思決定にかかわる女性を増やすと同時に、サポーターの男性も増やすことにも言及されました。

セミナー参加者からは、実践事例が大変参考になった、詳細なデータからの分析により現状の問題点がわかった、今後の取組の参考となった、無意識のバイアスの問題は深刻だ、などの感想がありました。

このセミナーの様子は、大隅先生のご厚意により、学内の教職員の研修用にオンデマンドとして配信しました。

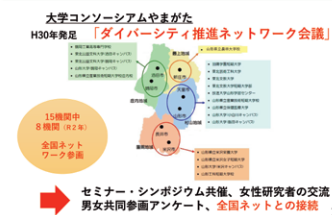


オンラインの講義の様子

山形大学の男女共同参画の歩み



山形県内のダイバーシティネットワークの推進



男女共同参画アンケートを実施しました

今年度は第2次山形大学男女共同参画基本計画の実施2年目にあたり、計画の推進状況の把握や課題の発見のために、アンケートを実施しました。今回で7回目となり、結果は男女共同参画推進委員会において分析をし、報告書等で皆様にお知らせすると共に、来年度からの男女共同参画及びダイバーシティの推進の取組に活用いたします。アンケート回収率は前回は上回る35.9%となり多くの皆様にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

実施日：令和3年7月2日～8月2日

分析：男女共同参画推進委員会

報告：令和4年3月発行 男女共同参画報告書

山形大学附属図書館 特別貸出コーナー

小白川図書館の男女共同参画推進やダイバーシティ関係の書架に、独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)の特別貸出コーナーがあります。図書館に入り左に進んだ入り口にあり、3ヶ月ごとに書籍の交換が行われます。

今年度のテーマは下記の通りです。

どうぞ、ご活用ください。

4月から 6月 「ジェンダー、しごと、家族、生き方、こころとからだ」

7月から 9月 「SDGs、男性性、家族、しごと、生活」

10月から12月 「政治、人間関係、ダイバーシティ、病気・闘病記、移民」

1月から 3月 「シングル・家族、健康・からだ、メディア、美術」



女子中高生の理系進路選択支援プログラム2年目

女子中高生の理系進路選択支援プログラム「ヤマガタ 夢☆未来 Girls プロジェクト」は今年度が最終年です。リーフレットを作成し、県内中学校や高等学校などに配付しました。

令和2年度は、中学校2校と高校1校での出前講座、中学校1校での出前授業、高校2校での課題探究指導、山形市遊学館チェリアフェスティバルでのサイエンス・カフェを実施しました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、ほぼ計画通りに活動を行うことができました。また、リーフレットには、理工系の仕事で活躍している先輩女性のインタビューも掲載されています。

詳細は、「ヤマガタ 夢☆未来 Girls プロジェクト」のホームページでご覧になれます。

今年度の活動は、出前授業として県内中学校や高校を訪問し、女性研究者による実験講座、女性大学院生との座談会、探究活動の支援を行います。年齢の近い女子大学院生と接することにより、理系の面白さに気づき、さらに理系の高等教育機関への進学を目指してもらうことを目的としています。また、ロールモデルとして、社会で活躍している方や山形大学のOGをたくさん紹介していきます。これらの活動を行うことにより保護者や学校の先生方が応援団になって女子の理系への進路選択が普通になることを目指します。

ヤマガタ夢☆未来Girlsプロジェクト
～人の役に立つ仕事をさがそう～

特徴
女性研究者と女性大学院生が山形県内の中学校・高校を訪問
サイエンスカフェ(女子アナスタシイガ島)を開催

実施体制
山形県教育庁(共同) 山形県男女共同参画センター(共同)
各市町村教育委員会(共同) 山形県男女共同参画センター(共同)

取組
女性サイエンティストによる訪問型プログラム
女子中高生を対象とした女子が興味を持ちやすいプログラム

山形県内4地区
サイエンスカフェ
夢☆未来を盛り出す

山形大学(仙台) 山形県男女共同参画センター

中学校
女性研究者と実験
リクエンの職場体験

高校
課題探究の指導
(女子大学院生)

サイエンスカフェ
中高生と保護者

企画改善
事前/事後アンケート 定例会議

成果発信
EPA All in One(山形県男女共同参画センター)にて実験教室をオンラインで
新聞・テレビでの広報活動

プロジェクト概要図

人の役に立つ仕事をさがそう
ヤマガタ夢☆未来Girlsプロジェクト

山形県内の「中学生のみなさんへ」
山形大学から「ヤマガタ 夢☆未来 Girls プロジェクト」について、お知らせします。
山形大学これまでで最大規模のイベントとして、今年度は「夢☆未来 Girls プロジェクト」の
山形県男女共同参画センター(チェリア)と山形県教育庁(共同)が主催する「夢☆未来 Girls プロジェクト」
山形県男女共同参画センター(チェリア)と山形県教育庁(共同)が主催する「夢☆未来 Girls プロジェクト」
山形県男女共同参画センター(チェリア)と山形県教育庁(共同)が主催する「夢☆未来 Girls プロジェクト」

このプロジェクトでは、女子中高生と女子大学院生の皆さんに、
もって活躍する機会や、
人の役に立つ仕事をさがして頂きたいと考えています。
今年度、山形県内の中学校・高校を訪問し、女性研究者による実験講座、女性大学院生との座談会、探究活動の支援を行います。年齢の近い女子大学院生と接することにより、理系の面白さに気づき、さらに理系の高等教育機関への進学を目指してもらうことを目的としています。また、ロールモデルとして、社会で活躍している方や山形大学のOGをたくさん紹介していきます。これらの活動を行うことにより保護者や学校の先生方が応援団になって女子の理系への進路選択が普通になることを目指します。

4つのプログラム

山形大学
山形県男女共同参画センター

ヤマガタ 夢☆未来 Girls プロジェクト

山形大学「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」
協力：山形県男女共同参画センター(チェリア) 女子中高生の親12組

女子中高生のためのサイエンス・カフェ
～親子で女性の研究者と話してみよう！～

2021年10月3日(土) 10:00～12:00
現地会場：遊学館3階第1研修室(山形市緑町 駐車場は裏面)
YouTube参加も有(一般の方も視聴可能)

河合寿子氏
女子大学院生の皆さん 山形大学理工学研究所

内容
★実験してみよう！
「5W1H」はわかるの？
～クイズの答えとタンパク質の解～
★女性研究者を囲んで話してみよう！

申込み方法
必要事項を明記のうえ、山形大学男女共同参画推進室までメールで申込み
必要事項：主姓・保護者氏名、学校名、学年、電話番号、メールアドレス、住所、会場参加かYouTube視聴かのどちらかを必ず明記
Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込締切 9月10日(金)
会場にお越しの際は、検温とマスク着用にご協力くださいますようお願いいたします。

問合せ先 山形大学男女共同参画推進室
TEL 023-628-4937 Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

サイエンス・カフェのチラシ

女性大学院生ネットワーク「山大JOIN」の活動 始まりました

次世代のリーダーを担う女性人材の育成を目的としている「山大JOIN」。

今年は、理系の大学院生14人が登録しています。小中高校生向けの出前事業に参加したり、セミナーを自主企画するなど、自身のキャリア形成と共に、次世代育成活動をしています。新型コロナウイルスによって残念ながら、6月開催予定であった男女共同参画フェスタの中止などもあり、相互交流会も実施していませんが、今後は、山形県男女共同参画センターのチェリアフェスティバル山形2021や、県内高校などでの活動が予定されています。



高校での講演会



出前講座の様子

山形大学女性大学院生ネットワーク
山大 JOIN
登録募集のお知らせ

女性大学院生のみさま
仲間・・・そして夢へと「つなぐ」 募集人数：30名程度
山形大学女性大学院生ネットワーク(通称：山大JOIN)のメンバーとして、一緒に活動しませんか！

対象：本学に在籍する女性大学院生(文系・理系問わず)

趣旨・目的
次世代のリーダーを担う女性人材の育成を目的として、女性大学院生ネットワークを構築し、参加者の相互交流を図るとともにキャリア形成を支援する。大学院進学を目指す女子学生の育成を目的とした個別対談事業を推進し、小中高生を対象とした次世代育成活動を行う。

活動内容(予定)
・個別対談事業(小中高校生向け事業)、出前授業(進路学習・探究学習含む)への参加、企業および実務
・男女共同参画推進室(企業履修セミナー、シンポジウム、パネル展示等)への参加
・女性活躍推進企業への交換留学、企業訪問、キャリア就職セミナー、進学セミナー等のキャリアアップを目的とする研修への参加
・女性大学院生交流会の開催
・情報共有活動(活動報告や記事の執筆など)

登録方法
必要事項を記載のうえ、EmailまたはQRコードより申込みください。
必要事項：氏名、所属、学年、Eメールアドレス
山形大学男女共同参画推進室 チーフコーディネーター 柿崎
TEL023-628-4937 Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

JOIN 募集のポスター

令和3年度各種支援制度について

男女共同参画の推進に向けて、推進室には各種支援制度があります。詳細はHPに掲載されています。

「山形大学男女共同参画推進室 - 令和3年度以降の支援制度について (yamagata-u.ac.jp)」

現在は、学会参加時の育児・介護支援制度、女性研究者へのノートパソコン貸出(7月末時点で全て貸出)、各種保育利用料補助制度(年度初めに登録した方のみ)が運用されています。特に女性と記載されている制度以外は性別を問いません。また、相談活動や次世代育成などの支援も行っています。

中澤 未美子 先生

学術研究院 准教授(工学部学生支援担当)



私は、米沢キャンパス「学生相談室」で働いています。精神保健福祉士と公認心理師という資格(どちらもメンタルヘルスの専門の国家資格です)で、学生の生活面の相談や心理的な悩みについて一緒に考えるというのが主な仕事です。

山形大学に着任したのは2018年で、2021年4月で3年目に入ります。まだまだ私自身が山形県での暮らしに慣れていませんが、子どもたちはスキーを楽しんでいます。さて、今回はこの場をお借りして、私の仕事や研究のことを少しご紹介します。

まず学生相談という仕事ですが、だれにも言えない深刻な悩みから、ちょっと気軽に話してみたいなということまで、様々な相談内容が寄せられます。どのような悩みであってもカウンセラーには守秘義務がありますので、相談したことが相談室以外に漏れることはありません。一人で抱え込まずに、相談して欲しいと思っています。相談の内容によっては周囲の協力が必

「誰もが過ごしやすい大学に。メンタルヘルスの観点からの実践研究」

要なこともありますので、その場合は相談者の了解を得て、他の人の力も借りて環境改善を目指すこともあります。昨今はコロナ禍ということもあり、自分でも気が付かないうちに心の疲れが出ていると思います。早めに、気軽にコンタクトして欲しいと、Twitterなどでも相談室のPRをしています。相談室を身近に感じてもらって、友達にも利用を勧めてもらえるようになると思います。

ここからは私の研究についてお話しします。専門は、大きく分けて2つあります。一つは、先に述べた学生相談の実践研究です。学生の支援に、どのようなことが有効だったのか事例研究をしています。もう一つは、ハラスメントに関することです。特に、加害者と呼ばれる方たちの対応に関心があります。加害(的)言動がなぜ起きてしまうのか、またそれを防ぐ手立てには、どのようなことがあるのかの検討を続けています。例えばセクハラに加害者には、無意識や無自覚などの個人の特性も関係していますが、社会システムの方に目を向けると、科学的で有効な性教育を受けてこなかったことが加害言動に大きく関係している可能性もあります。またSOGIハラ(Sexual Orientation, Gender Identityに関するハラス

メント)には多様な性に関する知識が欠けているがゆえに起こるといった報告も散見されます。このように、知らないことによって人を傷つけてしまうことを、知ることによって防ぐという仕組み作りが必要であると考えています。特に私が参照しているのがデンマークの教育の在り方です。日本とは文化や社会構造が違いますから、そのまま参照することはできませんが、視点が広く開けることで、人々の意識が向上したり、第三者がハラスメントを防ぐことができたりする可能性もあると考えています。山形大学には多様な性に関するガイドラインができました。多くの人に手に取ってもらい、少しでもよりよい社会について一緒に考えていけたらいいなと思っています。



カウンセリングの風景
(コロナ禍ではアクリルパネルを使用)

多様な性に関するガイドライン

第2次山形大学男女共同参画基本計画の具体的施策の4にあるように、個々の性別・性的指向・性自認等にかかわらずに本学の学生及び教職員が自然にお互いを認め、受け入れることができる組織を目指し、令和2年度末に「山形大学における多様な性に関するガイドライン」を策定しました。そのリーフレットは4月に新入生に配付しており、ガイドラインは各キャンパスのインフォメーション、各施設等に配付しております。

ガイドラインの内容は以下のとおりです。

***はじめに**

I「多様な性」を尊重する大学であるために

- (1) 基本的な用語 (2) カミングアウトとアウティング (3) ハラスメントの防止

II 本学の姿勢と現段階での具体的対応

- (1) 啓発・研修 (2) 通称名 (3) 性別情報 (4) 授業 (5) 健康診断 (6) 就職活動、教育実習・介護等体験・インターンシップ等 (7) 留学の対応 (8) 施設 (9) 相談窓口

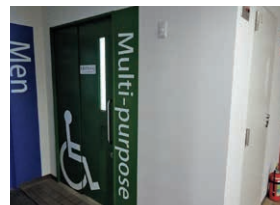
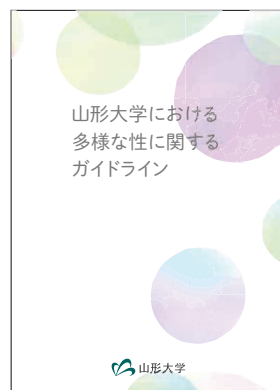
III 学生、教職員、附属学校への対応

- (1) 通称名 (2) 性別情報 (3) 授業 (4) 健康診断 (5) クラブ活動、学外活動、就職活動 (6) 学生サークル (7) 施設 (8) 相談窓口 等

***おわりに**

***巻末資料** 誰でも使用することができる可能なトイレ・学内の相談窓口の一覧

年度初めに推進室で小白川キャンパスのだれでもトイレの設置場所等を確認してみました。各キャンパスも設置場所は限られていますが、活用いただければと思っております。ガイドライン全文は男女共同参画推進室のホームページでもご覧になれます。



本部事務棟1Fトイレ

編集後記／キャンパス内を新入生が行き来する春は、大学らしい日常が戻ってきたように感じました。その後の、様々な状況変化に対応しながら、あっという間に半年が過ぎようとしています。男女共同参画推進室の体制も大幅に変わり、どのように男女共同参画及びダイバーシティを推進していくか模索の日々です。アンケートにご協力いただき、それを基に着実に事業を実施していきたいと考える毎日です。(2021年8月)



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL 023-628-4937/4939
E-mail y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/